

検 査

平成26年産秋まき小麦初検査

は種期は、一部の地域で降雨の影響のため遅れましたが、比較的良好（適期）に終了することができました。春先は、融雪の遅れた地域もありましたが、特に、雪腐病や凍害などの被害はありませんでした。

融雪後の4月下旬から5月中旬は高温・少雨で経過し、融雪が遅れた地域も幼穂形成期頃までには生育の回復がみられ、その後も気温が高めに推移したことから、さらに、生育が進み、ほとんどの地域で出穂期が平年より早まりました。

越冬後、総じて気温が高めに推移したことから、出穂から開花までの期間が短縮し、降水量も少なく干ばつ傾向となったため、穂数が少なく稈長も短くなりました。

このような生育状況のなか、本年産の初検査が7月30日 JA たきかわ（空知管内）で行われ、「きたほなみ」380トンが全量1等（Aランク）に格付けされました。

今後、順次全道各地において米穀・豆類など、農産物の検査を実施してまいります。



刈取日	7月16日(木)
検査日	7月30日(木)
検査場所	JA たきかわ北の米蔵検査場所
銘柄	「きたほなみ」
等級	1等
検査数量	380トン